

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成18年10月5日(2006.10.5)

【公表番号】特表2006-500871(P2006-500871A)

【公表日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【年通号数】公開・登録公報2006-001

【出願番号】特願2004-540042(P2004-540042)

【国際特許分類】

H 03K 7/08 (2006.01)

H 03F 3/217 (2006.01)

【F I】

H 03K 7/08 G

H 03F 3/217

【手続補正書】

【提出日】平成18年8月18日(2006.8.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

フルブリッジ積分ノイズ・シェーピングのための方法であって、

第一及び第二基準PWM信号を受信すること、

前記第一及び第二基準PWM信号のうちの少なくとも一方に量子化誤差の補正を加算し、合計を得ること、

前記合計を量子化し、第一及び第二出力PWM信号を生成すること、

フルブリッジ積分ノイズ・シェーピングのアルゴリズムによって、前記第一及び第二基準PWM信号、並びに、前記第一及び第二出力PWM信号を差動的に積分し、前記量子化誤差の補正を得ること、

を含むフルブリッジ積分ノイズ・シェーピングのための方法。

【請求項2】

PWM信号を処理するための方法であって、

シングルエンドPWM信号を受信すること、

前記シングルエンドPWM信号を、第一基準PWM信号及び第二基準PWM信号に差動的に変換すること、

前記第一及び第二基準PWM信号のうちの少なくとも一方に量子化誤差の補正を加算し、合計を得ること、

前記合計を量子化し、第一及び第二出力PWM信号を生成すること、

フルブリッジ積分ノイズ・シェーピングのアルゴリズムによって、前記第一及び第二基準PWM信号、並びに、前記第一及び第二出力PWM信号を差動的に積分し、前記量子化誤差の補正を得ること、

を含むPWM信号を処理するための方法。

【請求項3】

フルブリッジ・パワーステージを駆動するための方法であって、

第一及び第二パルス変調信号を受信すること、

前記第一及び第二パルス変調信号のうちの少なくとも一方に量子化誤差の補正を加算し、合計を得ること、

前記合計を量子化し、第一量子化されたパルス変調信号及び第二量子化されたパルス変調信号を生成すること、

前記第一及び第二パルス変調信号、並びに、前記第一及び第二量子化されたパルス変調信号を差動的に積分し、前記量子化誤差の補正を得ること、

前記第一量子化されたパルス変調信号により、前記フルブリッジ・パワーステージの第一側を駆動すること、

前記第二量子化されたパルス変調信号により、前記フルブリッジ・パワーステージの第二側を駆動すること、

を含むフルブリッジ・パワーステージを駆動するための方法。

【請求項4】

請求項3に記載の方法において、前記第一及び第二パルス変調信号は、パルス幅変調信号及びパルス密度変調信号のうちの一方である、方法。

【請求項5】

パルス変調信号のフルブリッジ積分ノイズ・シェーピング量子化を実行するための装置であって、

シングルエンド・パルス変調信号を、第一パルス変調信号及び第二パルス変調信号に差動的に変換するためのシングルエンド-差動変換回路と、

前記シングルエンド-差動変換回路に接続されたフルブリッジ積分ノイズ・シェーピング量子化器回路であって、

前記変換回路に接続され、前記第一及び第二パルス変調信号のうちの少なくとも一方に量子化誤差の補正を加算し、合計を得て、前記合計を量子化し、第一量子化されたパルス変調信号及び第二量子化されたパルス変調信号を生成するための加算及び量子化回路と、

前記加算及び量子化回路に接続され、前記第一及び第二パルス変調信号、並びに、前記第一及び第二量子化されたパルス変調信号を差動的に積分し、前記量子化誤差の補正を得るための差動積分回路と、を含むフルブリッジ積分ノイズ・シェーピング量子化器回路と、

を含むパルス変調信号のフルブリッジ積分ノイズ・シェーピング量子化を実行するための装置。